

## カツィール・ユースキャンプ

2014年7月18日

私たちは今週、エイタン・シシコフとカツィール・チーム全体と共に、夏のユースキャンプに参加致しました。このキャンプは1週間の長さで、賛美、祈り、聖書の教え、個人個人への弟子訓練、お食事、交流、スポーツ、そしてお楽しみに満ちたものでした。72人の10代の若者たちが参加し、スタッフは20人を超えていました。このキャンプはヘブライ語で行われ、多くの地元のコングリゲーションが支援しました。今年、教師陣はエイタン、アシェル、オデド・シヨシャニ、マイク・ニーバー、そして何名かのユースパスターたちでした。どうか、大いに霊的な実がなるように、そしてこれらの若者たちを今後もフォローできるよう、お祈り下さい。リバイブ・イスラエルはカツィール・キャンプの主なスポンサーの一つです。これを可能として下さった私たちの献金者、パートナーの皆様には感謝を申し上げます。私たちはこれらのキャンプを資金的にサポートし続ける事ができるよう、皆様が今後も献金して下さいる事を心から望みます。

## ガザでの戦争

イスラエルが一時停戦を申し出て、ハマスによって拒絶された後、イスラエルはガザでの本格的な作戦に乗りだし、ハマスの作ったテロリストの諸施設を破壊しました。今日、テロリストによって最も集中的に構築された施設、武器、そして野営地がガザで見つかりました。

ハマスの自爆メンタリティーに対処するのは困難です。彼らはイスラエルへの憎しみゆえ自分たちの市民を犠牲にするのを厭いません。もし自爆テロリストがあなたに向かってきたら、あなたには、彼を殺す以外の選択肢はないでしょう。イスラエルはガザ市民に、危険から離れるよう警告しています。しかし、ハマス指導者は、彼らに「人間の盾」となるため留まるよう命令しています。彼らの態度は「私たちは、自分たちの子どもたちが殺されることを厭わず、そうすることによって世界のオピニオンを反イスラエルに仕向けさせ、そしてそれが私たちにとって勝利となるのだ。」というものです。

この時点で、エジプト大統領のアル・シシ氏がこの紛争において唯一安定した「中立的な」立場を取る者のようにみえます。どうか、イスラム過激派とテロリストの「根」がガザから根絶やしにされるようにお祈り下さい。

## 万軍の主

フランシス・フランギパイン(読み: フランジペインの場合もあり)

主の神的なご性質は、組み合わされた神の御名から明らかにされます。例えば、ヤーウェ・ニシ (Yahweh-Nissi「主は我が旗」) またはヤーウェ・ジャイラ (Yahweh-Jirah「主は我が提供者」) または、ヤーウェ・ラファ (Yahweh-Rapha「主は我が癒やし主」) です。聖書の中のおよそ 30 の出来事の中で、主はご自身の永遠のご性質を主のしもべに、人が必要とするものを満たすために表されました。

しかし、一つの名はこれらの 30 箇所の記述から飛び抜けているものがあります。それは聖書の中でおよそ 290 回出てくるもので、他の啓示の 10 倍近い頻度で現れています。その御名は何でしょうか。ヤーウェ・ツェバオト Yahweh-Tsebaoth「万軍の主」です。

自分の個人的な変革、家族、街そして国(の変革)に対して闘いながら、万軍の主こそ、私たちが闘いの中で従って行きたい存在です。万軍の主こそヨシュアがエリコの平原で出会ったものであり (ヨシュア 5:14)、ペリシテ人に対してダビデを闘いに導いたのがそうでした (1 サムエル 17:45)。

私たちは主を大いなる天の万軍の司令官として見る必要があります。主は宇宙の主であり、天と地両方の力の主であり、「天にある軍勢はまっ白な、きよい麻布を着て、白い馬に乗って彼につき従った。」(黙示録 19:14)。

## 万軍の YHVH

アシェル・イントレーター

聖書は神を「戦いの人」と描いています (出エジプト 15:3; イザヤ 42:13)。イエシュアは天の軍勢の総司令官として預言者から見られていました (ヨシュア 5:13)。そして、主の栄光を帯びた再臨は新約聖書に述べられています (黙示録 19:11)。

神が様々な方法で人類にご自身を示される際、神からの油注ぎには様々な種類があります。神はいつも私たちと共におられますが、「艱難の時」主はただ中におられて助けて下さいます (詩篇 46:2)。いいかえると、万軍の YHVH としてご自身を示される状況において、神のご臨在に新たな側面が加えられています。私たちはこれを今イスラエルで感じています。アイアンドーム防御システムのような「地上」のハイテク技術という優位性があることに加え、何か不思議な感じがあります。私たちの民全員にある心の平安、守り、そして自信を、世俗も宗教派も同様にそう感じています。私たちは、神の特別な恵みにより、イスラエル政府と軍が正しい立場に立つ事、そして世界中のクリスチャンがイスラエルの代わりに大いなる祈りのネットワークを組んで祈って下さっている事が、上記の平安感の元となっているのではという思いが与えられています。

## ガザのために祈る

アリエル・ブルーメンソール

ガザでの(又は西岸地区での)小さなクリスチャン少数派がハマスの元苦しんでいるか、その事に関するリンクを下記に示します。もしあなたがたがキリストの体と、アラブ-イスラム教の人々との間の福音伝道に関して関心があるのでしたら、ハマスを根絶させるために—もちろん最低限の犠牲で—イスラエルへの祈りをお願い致します。ハマスとそのようなグループ(ヒズボラ、アルカイダ、タリバン、その他)は「福音のための悪い知らせ」です。すべての人が福音を聞く機会があり、主の呼びかけに自由に応じる事は、神のご意志です。それゆえ、神の御国にふさわしい平和な社会で暮らす事もまた神のご意志なのです(1 テモテ 2:1-7)。

私の心は、ガザや西岸地区にいる私たちの従兄弟にあたるアラブ人に対して燃え上がります。どこであっても、イスラムの嘘と殺人的な聖戦主義の霊が彼らを囚われの状態にしておくのです。「神よ、そこにも聞く必要のある、そしてあなたに従う用意の出来ている残りの人々をあなたは用意されていると信じています。どうか、彼らにチャンスを与えて下さい。お願いします。」

事の現状はこういう事です。ユダヤ人対アラブ人ではないのです。驚く事に、最近エジプトやサウジアラビアがハマスを攻撃するイスラエルを讃える元情報を見ました。分断されたイスラム世界、そこではシーア派とスンニ派が集団で互いに殺し合っている世界ですが、その中から来る、このような健全さを神に感謝します。私たちはハマスを取り除く歴史的な機会が与えられ、ガザの人々に異なった政権を見る機会が与えられました。イスラエル、ファタハ、そしてエジプトとの共同作戦を通して行われるでしょう。共に祈りましょう！

[パレスチナ当局によるクリスチャン迫害。](#)

[ガザのクリスチャン](#)

[クリスチャンを迫害する、またはイスラエルを悪魔とみなす動き](#)

[クリスチャンの墓を汚すハマス](#)

(全部英語です)